

京都府教育委員会では、意欲と情熱を持って日々熱心に教育実践等に取り組んでいる優秀な教職員について、表彰を行っています。令和6年度は、49名、3団体の教職員を表彰し、11月14日(木)に表彰式を行いました!

【一般教職員部門】

| | | |
|---------------|------|-------|
| 向日市立向陽小学校 | 教諭 | 出野理恵 |
| 八幡市立八幡小学校 | 教諭 | 吉原智穂 |
| 京田辺市立桃園小学校 | 事務職員 | 和田和代 |
| 木津川市立相楽小学校 | 教諭 | 草川倫子 |
| 久御山町立御牧小学校 | 教諭 | 津田直毅 |
| 亀岡市立穂田野小学校 | 教諭 | 加藤成二 |
| 福知山市立六人部小学校 | 教諭 | 岩室麻佐美 |
| 舞鶴市立余内小学校 | 教諭 | 山本朝子 |
| 京丹波市立久美浜小学校 | 教諭 | 川上由希子 |
| 与謝野町立市場小学校 | 教諭 | 高岡香代子 |
| 長岡京市立長岡第三中学校 | 教諭 | 森山結城 |
| 宇治市立横島中学校 | 教諭 | 関和也 |
| 城陽市立城陽中学校 | 教諭 | 近藤千晴 |
| 八幡市立男山中学校 | 教諭 | 桑原崇 |
| 精華町立精華中学校 | 教諭 | 南浦博勝 |
| 相楽東部広域連立和束中学校 | 養護教諭 | 小野齊恵 |
| 南丹市立園部中学校 | 教諭 | 梅垣宏祐 |
| 京丹波町立蒲生野中学校 | 教諭 | 湯浅佑介 |
| 綾部市立八田中学校 | 教諭 | 船越寿子 |
| 福知山市立日新中学校 | 教諭 | 小野朋美 |
| 舞鶴市立城南中学校 | 教諭 | 奥澤愛 |
| 宮津市立栗田中学校 | 教諭 | 原田美智子 |

【若手・新進教職員等奨励部門】

| | | |
|-------------|----|------|
| 亀岡市立亀岡小学校 | 教諭 | 加藤達也 |
| 宇治市立南宇治中学校 | 教諭 | 笹田隆広 |
| 京都府立朱雀高等学校 | 教諭 | 山内彪史 |
| 京都府立菟道高等学校 | 教諭 | 千葉大暉 |
| 京都府立東舞鶴高等学校 | 教諭 | 竹本愛太 |

| | | |
|---------------|---------|-------|
| 京都府立山城高等学校 | 教諭 | 堀井潤子 |
| 京都府立清明高等学校 | 教諭 | 福田智幸 |
| 京都府立鴨沂高等学校 | 教諭 | 島田雄介 |
| 京都府立鳥羽高等学校 | 事務職員 | 廣瀬由香 |
| 京都府立嵯峨野高等学校 | 学校図書館司書 | 森地みどり |
| 京都府立北嵯峨高等学校 | 教諭 | 堤洋子 |
| 京都府立北桑田高等学校 | 教諭 | 井口智博 |
| 京都府立東稜高等学校 | 養護教諭 | 大井真理子 |
| 京都府立京都すばる高等学校 | 教諭 | 鹿俣拓也 |
| 京都府立向陽高等学校 | 教諭 | 桃井徹 |
| 京都府立乙訓高等学校 | 教諭 | 柳川元 |
| 京都府立菟道高等学校 | 教諭 | 佐藤康子 |
| 京都府立西城陽高等学校 | 教諭 | 金見紀宜 |
| 京都府立京都八幡高等学校 | 技術職員 | 丸岡全之 |
| 京都府立久御山高等学校 | 教諭 | 林哲也 |
| 京都府立農芸高等学校 | 教諭 | 山口裕輔 |
| 京都府立福知山高等学校 | 教諭 | 高見沢美樹 |
| 京都府立峰山高等学校 | 教諭 | 中野保明 |
| 京都府立宇治支援学校 | 教諭 | 森河公博 |
| 京都府立八幡支援学校 | 教諭 | 福井智恵 |
| 京都府立中丹支援学校 | 教諭 | 長内修平 |
| 京都府立舞鶴支援学校 | 事務職員 | 田中朋子 |

【団体等部門】

| | |
|------------|--------------------|
| 京都府立清明高等学校 | 「シン・会議」 |
| 京都府立木津高等学校 | システム園芸科茶業コース教職員チーム |
| 京都府立盲学校 | 理療科 |



発行：京都府教育委員会
編集：京都府教育庁管理部総務企画課
電話：075-414-5710
URL：https://www.kyoto-be.ne.jp/

■京都府立大学の系属高校

京都府教育委員会では、令和5年12月に策定した「魅力ある府立高校づくり推進基本計画」による高校改革の一つとして京都府立大学との連携強化を進めており、令和8年度から、府立農芸高校及び北桑田高校を京都府立大学の系属高校とすることとしました。

2校では、農業・林業の専門学科を中心に、高校での体験的・実践的な学びと大学の高度な教育を効果的に連携させた教育活動を展開します。令和6年10月29日には、京都府立大学と京都府教育委員会との間で系属高校に関する協定の調印式を行いました。

🔍 目指す効果

- 大学の研究室を訪問し高度な研究に触れたり、大学教員による講義を受講するなど専門的な学びを充実
- 大学生との共同研究により学修意欲を向上

✎ 系属高校から府立大学への進学

令和9年度の大学入試から、府立大学の各連携学科に定員の約1割(4~5名)にあたる系属校枠(仮称)を設け、高校から大学までの長期間で専門人材を育成

今後は、令和8年度に向けて準備を進め、京都府の農林業及び関連産業の振興に資する人材の育成に取り組んでまいります。

■京都探究エキスポ ~京の高校生探究パートナーシップ事業~

4月に開催された京都府知事と京都市長との会談(府市トップミーティング)において、府立高校と市立高校の生徒が互いに探究活動を通じた交流を行うパートナーシップ事業が提案されました。そのキックオフイベントとして、12月21日(土)に「京都探究エキスポ」を開催します。当日は、府立・市立の高校約50校が一堂に会し、日頃の学びの成果発表を行い、互いに交流して議論を深めます。また、AI研究で活躍されている東京大学の松尾豊教授による講演などを実施する予定です。



京都府立大学と京都府教育委員会との系属高校に関する協定 調印式



シリーズ人権

ジェンダー平等と人権の新たな一歩

2024年8月に開催されたパリオリンピックでは、史上初めて出場選手が男女同数となり、ジェンダー平等の象徴として世界中から注目を集めました。ちなみに、100年前にパリで開催された同大会では女性の参加率はわずか2.2%でした。

日本における2024年のジェンダーギャップ指数^{*}は146箇国中118位と低迷しています。京都府では、全ての人がある個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、ジェンダー平等の推進に取り組んでいます。

私たち一人一人が人権を尊重し、ジェンダーギャップを縮小するために何が出来るかを考えてみませんか。

^{*}世界経済フォーラムによる政治や経済分野などにおける男女間の不均衡を示す指標。

家計が急変した世帯の高校生などへの支援

失業や休業などにより収入が減り家計が急変した場合、修学資金の貸付をいつでも申請することができます。修学資金を返還している場合は、返還の猶予(返還の先延ばし)ができます。

また、失業などにより保護者など(親権者全員)の住民税所得割が非課税相当となった場合、返済の必要のない給付金の申請ができます。

詳細は、ホームページをご覧ください。

高校教育課修学支援係 TEL:075-414-5043

修学支援事業 ホームページ [修学支援 京都府教育委員会 検索](#)

この夏の大会結果

| | | | |
|----|------------------------------|---|-------------------|
| 団体 | 水泳(水球) | 鳥羽高校 | 全国中学校体育大会 入賞一覧 |
| 個人 | レスリング 自転車競技 ウエイトリフティング | 丹後緑風高校 北桑田高校 鳥羽高校 海洋高校 綾部高校 | 全国高等学校総合体育大会 入賞一覧 |
| | カヌー | | |

鳥羽高校

📞 ひとりで悩まないで! 📧

不登校、いじめ、友人関係、学習等の学校生活のことや、家庭内での気がかりな行動等、お子さんの教育や子育てについての相談を受け付けています。

| | | |
|--|--|--|
| 電話教育相談 ふれあい・すこやかテレフォン (24時間受付) 075-612-3268 または 3301 0773-43-0390 | メール教育相談 「メール教育相談 京都」で検索してください。携帯電話からも相談できます。 ※携帯電話の場合、受信拒否設定を解除してください。 | 不登校専用相談窓口 きょうと不登校相談ダイヤル 075-585-7588 毎週金曜日 13:00~16:30 (令和6年4月19日~) 詳細はこちら |
| 来所教育相談 京都府総合教育センター(伏見区)及び北部研修所(綾部市)で、臨床心理士、精神科医などが直接会ってお話をうかがいます。 | 巡回教育相談 お住まいの近くの教育局などに臨床心理士などが向向き、直接会ってお話をうかがいます。 | 体罰専用相談電話 075-612-5013 (毎週水曜日 11:30~18:30) |

来所・巡回教育相談のお申込みは、「ふれあい・すこやかテレフォン」にお電話ください。

前号に引き続き、
子どもの教育のための総合交付金の取組を紹介します。



▲「心と体の健康観察アプリ」

一心の小さなSOSを見逃さず、安心して過ごせる居場所づくり
長岡京市では、「校内教育支援センター」を新設し、学校内の居場所づくりを進めています。また、1人1台端末に導入する健康観察アプリにより、心や体調の変化を早期に発見し、適切な支援に早期に繋げる体制を強化しています。



▲地元食材を使った「味夢君ランチ」

— 「地元食材」や「地域に残る食文化」を活かして郷土愛を育む
京丹波町では、学校給食において、地元食材を積極的に取り入れ、生産者等と連携した食への学びに繋がる給食の実施や、地域に残る食文化に触れることにより、子どもたちの食育を推進しています。



京都府学力・学習状況調査 ～学びのパスポート～ が実現する誰一人取り残さない教育

京都府教育委員会では、京都府独自の学力・学習状況調査「学びのパスポート」を実施しています。今年度2年目を迎えた調査結果からは、児童生徒一人一人の学びの状況や一年間の成長・つまづきなどが、確かなデータとなって表れてきました。児童生徒の学力と非認知能力を育み、誰一人取り残すことなく、個性や能力を最大限伸ばす教育を進めていきます。

「学びのパスポート」とは

詳しくはコチラ→



- ◆ 対象学年：小学校第4学年から中学校第3学年
- ◆ 学力調査と学習状況調査の2つで構成しています。
- ◆ 学習状況調査では、非認知能力や学習方法などに関する質問を行い、学力との相関関係を調査します。

学力調査

小学校：国語、算数
中学校：国語、数学、英語*
*中2・中3のみ



学習状況調査

非認知能力、学習の方法、
生活状況、ICT利用の状況

(※) 非認知能力とは、テストの点数やIQのように数値で測ることが難しい、自己肯定感、忍耐力、自制心、社会性といったこれからの時代を生き抜くために欠かせない「生きる力」のひとつ。

学力と関係性がある項目を見つけ、日々の学習に取り入れることで、効果的に学力を高めることが期待できます。



3つの特徴

- 1 調査問題の難易度に左右されず、学力の伸びと非認知能力の変容を経年比較できる
- 2 学力だけでなく非認知能力を測ることができる
- 3 児童生徒一人一人の学力の伸びと非認知能力の変容が見える化できる

目指すところ



児童生徒

- 自分自身の強みと課題を理解し、これからの目標に繋げる
- 6年間の学びの足あと、成長の足あとから自己を理解し、自ら学び続けられる人へ

教員(学校)

- 教員の経験にエビデンスが加わることで、具体的な指導ポイントを把握することができる
- 児童生徒一人一人に応じた指導や授業改善に繋げる

各教育局の取組を紹介します!

みんなでコラボ in 中丹を開催!

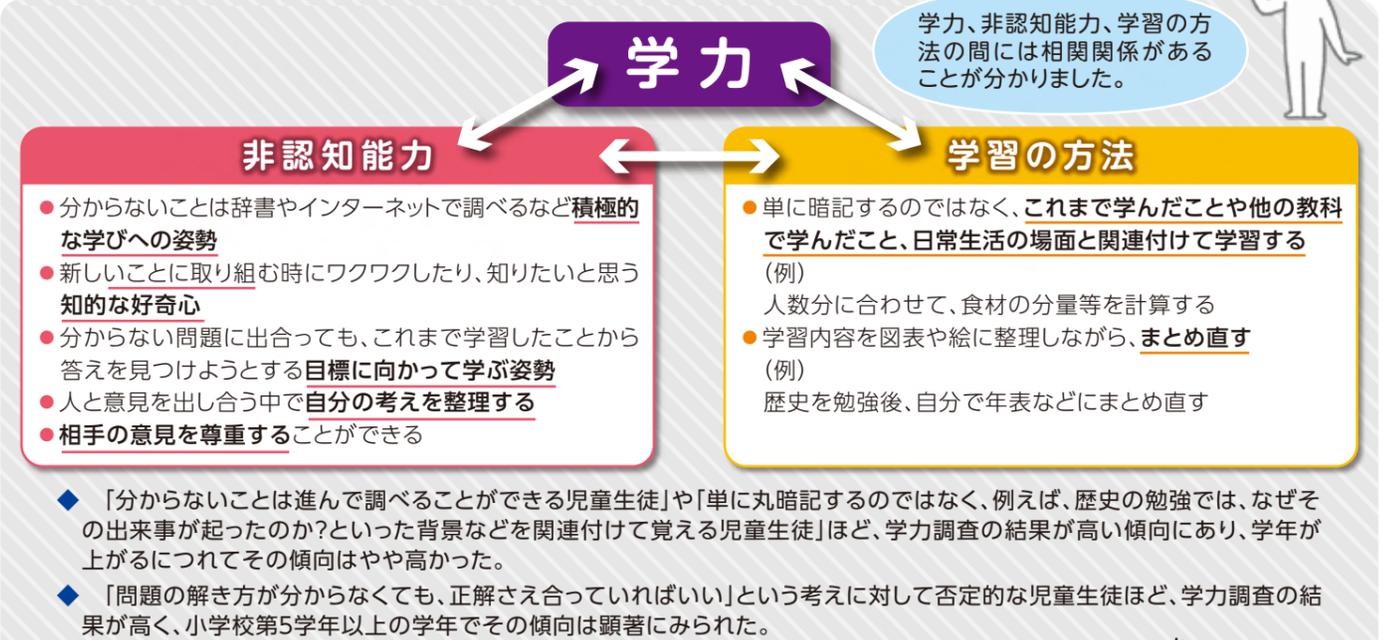
中丹教育局では、保護者や中学生・学校関係者等を対象に、社会総がかりで子どもを育てる環境づくりについて学び、学習したことを各学校、地域社会に広めることを目指し、「みんなでコラボ in 中丹」を開催しました。



当日は、福知山公立大学谷口知弘教授に「豊かに子どもをはぐくむために」と題して、子どもと大人と一緒に地域で楽しみ、助け合うことが、ゆるやかな関係づくりにつながり、子どもたちを豊かにはぐくむ環境づくりになることについて御講演いただくとともに、4組のパネリストの方に子どもたちの豊かな成長のためにみんなで手を取り合い、子どもたちをはぐくむ環境づくりのための実践例を御紹介いただきました。

今後も地域社会全体で子どもたちを健やかに育む環境の充実に向けて取組を進めます。

■学習状況調査から見てきた学力との関係性



学力向上のために家庭でもできることって?

児童生徒

- 自分の興味のあること、疑問に思うことを本や新聞などで調べてみよう。
- 「おこづかいの範囲内で買い物をする」「対称や線対称のものを街の中で探してみる」など、学習したことが生活や社会の中でどう繋がっているのか考えてみよう。
- 学習したことを簡単な絵に描いたり、図や表を作ったりしてまとめよう。
- 国語の教科書に載っている物語を読んでおくなど、次の日の学習内容を知っておこう。
- 学習したことを忘れないようにおさらいしておこう。

保護者

- 普段の生活の中から、子どもたちの話に耳を傾ける・意見を話し合える雰囲気づくりなど、家で見守られている安心感の中で学習できるようにしよう。



■認知能力(学力等)と非認知能力を一体的にはぐくむ学校の取組



綾部市立綾部中学校区

「自己調整」(学び方を工夫しながら能動的に学ぶ力)を課題に据え、児童生徒が自己選択・自己決定する場面を設定し、試行錯誤を行う中で学ぶ授業を展開!

宮津市立栗田中学校区

自ら主体的に学ぶ姿勢を身に付けることを課題に据え、一人一人が調査結果を振り返る場を設定。自己理解と自己決定を促すよう、個に応じた授業を展開!



TANGO 子ども未来プロジェクト

～丹後の「ものづくり」に子ども達の目が輝く～

丹後教育局では、丹後機械工業協同組合と協力して、小中学生の機械産業技術などに対する興味・関心を高めるとともに、ふるさと丹後への郷土愛を養い、将来の丹後の地場産業を担う人材を育成するため、地元のものづくり企業等による出前講座・企業見学を実施しています。

出前講座に参加した小・中学生からは「大変な作業で、私たちの暮らしが支えられているのだと思いました。」「製造業にも興味を持って、もっと丹後の知らない部分を学んでいきたいです。」といった感想がありました。取組を通して、丹後が誇る産業について知り、地域の未来を担う子どもたちの育成とキャリア教育を推進します。

